

平成16年度歳入歳出決算状況

平成16年度は、合併前の旧1市6町において、合併に向けた準備事業をはじめ、少子高齢化への対応、地域産業・地域経済の活性化へ向けた取り組みなど、それぞれの団体で様々な施策を実施し、豊かな住民生活実現のため旧1市6町として最後の予算を執行しました。

一般会計の決算額は、歳入が375億5,084万円、歳出が366億1,591万円となりました。歳入と歳出の差引は9億3,493万円となり、翌年度への繰越財源5,145万円を控除した実質収支は、8億8,348万円の黒字となりました。

農業集落排水事業

歳入合計	・17億631万円
県支出金	8億5,140万円
市(町)債	4億6,500万円
分担金及び負担金	5,495万円
使用料及び手数料	1,787万円
繰入金	2億9,374万円
その他	2,335万円
歳出合計	・16億9,877万円
総務費	1,501万円
農業集落排水事業費	15億7,840万円
公債費	1億536万円
差引(翌年度へ繰越)	754万円

住宅資金

歳入合計	・4,673万円
県支出金	375万円
繰入金	1,454万円
その他	2,844万円
歳出合計	・4,592万円
貸付金	67万円
公債費	3,584万円
諸支出金	419万円
繰上充用金	522万円
差引(翌年度へ繰越)	81万円

歯科診療所

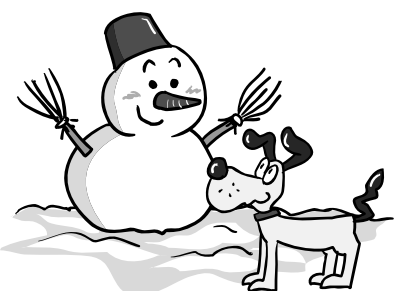
歳入合計	・2,353万円
診療収入	1,972万円
繰入金	287万円
その他	94万円
歳出合計	・2,327万円
総務費	2,068万円
公債費	259万円
差引(翌年度へ繰越)	26万円

公共下水道事業

歳入合計	・19億1,656万円
国庫支出金	6億1,780万円
市(町)債	3億710万円
分担金及び負担金	1億5,723万円
使用料及び手数料	1億7,563万円
繰入金	5億9,977万円
その他	5,903万円
歳出合計	・18億9,218万円
総務費	1億1,361万円
公共下水道事業費	11億8,141万円
公債費	5億9,716万円
差引(翌年度へ繰越)	2,438万円

庄原工業団地造成事業

歳入合計	・2億1,816万円
繰入金	826万円
市債	2億990万円
歳出合計	・2億1,814万円
公債費	2億1,814万円
差引(翌年度へ繰越)	2万円



国民健康保険

歳入合計	44億2,335万円
国庫支出金	13億7,769万円
国民健康保険税	11億2,446万円
療養給付費等交付金	10億2,140万円
繰入金	5億330万円
その他	3億9,650万円
歳出合計	41億2,075万円
保険給付費	24億9,836万円
老人保健拠出金	9億1,994万円
総務費	1億6,940万円
基金積立金	1億2,040万円
その他	4億1,265万円
差引(翌年度へ繰越)	3億260万円

老人保健

歳入合計	・76億4,302万円
支払基金交付金	46億4,993万円
国庫支出金	19億2,844万円
県支出金	4億8,211万円
繰入金	5億5,470万円
その他	2,784万円
歳出合計	・75億8,296万円
医療諸費	75億4,315万円
その他	3,981万円
差引(翌年度へ繰越)	6,006万円

介護保険

歳入合計	42億8,270万円
国庫支出金	11億4,150万円
県支出金	4億9,428万円
保険料	5億5,568万円
支払基金交付金	12億5,901万円
繰入金	6億9,777万円
その他	1億3,446万円
歳出合計	41億2,644万円
保険給付費	39億3,971万円
総務費	1億4,084万円
その他	4,589万円
差引(翌年度へ繰越)	1億5,626万円

土地造成事業

歳入合計	・344万円
財産収入	290万円
繰入金	49万円
繰越金	5万円
歳出合計	・340万円
土地購入費	38万円
公債費	302万円
差引(翌年度へ繰越)	4万円

ダム対策

歳入合計	・4億9,162万円
国庫支出金	2,882万円
諸収入	3億9,990万円
繰入金	4,844万円
その他	1,446万円
歳出合計	・4億9,094万円
ダム対策費	3億5,764万円
公債費	1億3,330万円
差引(翌年度へ繰越)	68万円

国民健康保険(直診勘定)

歳入合計	・1億970万円
診療収入	8,786万円
繰入金	1,000万円
その他	1,184万円
歳出合計	・1億621万円
総務費	5,721万円
医療費	4,140万円
その他	760万円
差引(翌年度へ繰越)	349万円

診療所

歳入合計	・9,080万円
診療収入	7,723万円
繰入金	651万円
その他	706万円
歳出合計	・8,561万円
総務費	4,121万円
医療費	4,440万円
差引(翌年度へ繰越)	519万円

浄化槽整備事業

歳入合計	・2,777万円
国庫支出金	822万円
市(町)債	700万円
分担金及び負担金	528万円
使用料及び手数料	17万円
繰入金	710万円
歳出合計	・2,504万円
浄化槽市町村整備推進事業	2,504万円
差引(翌年度へ繰越)	273万円

簡易水道事業

歳入合計	・3億8,444万円
分担金及び負担金	1,057万円
使用料及び手数料	1億3,460万円
繰入金	1億8,338万円
その他	5,589万円
歳出合計	・3億7,195万円
総務費	1億4,235万円
公債費	2億2,960万円
差引(翌年度へ繰越)	1,249万円

【特別会計】

特別会計は、特定の事業を行う場合、特定の歳入を特定の歳出に充て、一般会計の歳入歳出と区分して整理する必要があるときに、一般会計から分離して別に収支経理を行う会計です。新市には、住宅資金、国民健康保険、老人保健、介護保険、公共下水道事業、簡易水道事業など14の特別会計があり、決算額は、歳入総額が213億6、814万円、歳出総額が207億9、159万円となっています。

【企業会計】

企業会計は、水道事業(庄原東城地区)、病院事業(西城市民病院)の2つの会計があり、独立採算を原則として運営しています。

●水道事業

①収益的収支
水道料金で人件費、電気代、薬品費などをまかなう維持管理費などの収益的収支では、理的なもの(黒字決算)となつていきます。

②資本的収支

企業債や負担金などで建設改良費をまかなう資本的収支では、拡張継続事業の配水管布設工事などにより、1億9、649万円の不足を生じ、これを消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金で補っています。

●病院事業

①収益的収支
収益的収支では、診療収入で維持管理等の経常費用(人件費、薬品費、経費など)をまかなうもので、本年度では119万円

の純利益(黒字決算)となりま

②資本的収支

企業債や負担金などで建設改良費をまかなう資本的収支では、乳房検診システムや人工呼吸器などの医療機器整備や、トイレ自動水洗手洗等改修工事の施設整備などにより、3、846万円の不足を生じ、これを収益的収入の特別利益2、84万円および内部留保資金1、550万円、資本消費税調整額12万円で補っています。

水道事業

収益的収支	
収入	6億7,051万円
支出	6億4,628万円
差引	2,423万円
資本的収支	
収入	5億698万円
支出	7億347万円
差引	▲1億9,649万円

病院事業

収益的収支	
収入	17億1,465万円
支出	17億1,345万円
差引	119万円
資本的収支	
収入	4,599万円
支出	8,445万円
差引	▲3,846万円